



# 奈良 × JICA

— 信頼で地域と世界をつなぐ —



## JICA海外協力隊

派遣中隊員 (16名) ※1

派遣国	派遣期間	職種
ルワンダ	2024.04.22 - 2026.04.21	コミュニティ開発
ネパール	2024.08.06 - 2026.08.05	体育
ガーナ	2024.08.06 - 2026.08.05	コミュニティ開発
ラオス	2024.08.20 - 2026.08.19	小学校教育
タンザニア	2024.08.27 - 2026.08.26	小学校教育
ルワンダ	2024.09.02 - 2026.09.01	農業土木
ポリビア	2024.11.26 - 2026.11.25	ソフトボール
インドネシア	2025.01.28 - 2027.01.27	服飾
キルギス	2025.07.29 - 2027.07.28	青少年活動
エジプト	2025.07.29 - 2027.07.28	柔道●
東ティモール	2025.08.02 - 2027.08.01	障害児・者支援
パプアニューギニア	2025.08.04 - 2027.08.03	土木
ウズベキスタン	2025.08.05 - 2027.08.04	看護師
ケニア	2025.08.20 - 2027.08.19	助産師
パラオ	2025.12.08 - 2027.12.07	柔道
コスタリカ	2025.12.09 - 2027.12.08	野球

※1 奈良県・奈良県内の市町で表敬を行った隊員

派遣中を含む累積隊員数 (581名) ※2

※2 本籍地が奈良県の隊員

●印はJICA海外協力隊連携派遣：連携覚書に基づき、JICA海外協力隊を派遣しています。

天理大学柔道部 × エジプト (エジプト・アラブ共和国 青年スポーツ省(エジプト柔道・合気道・相撲連盟))  
現行覚書期間：2022年11月～2028年3月 派遣職種：柔道

## JICA債 ※5

投資表明
明日香村
広陵町
三郷町
田原本町
三宅町

※5 JICA債への投資を通じた持続可能な社会づくりに貢献する旨、对外公表している投資家の皆さまのみ掲載



<投資家の皆様へ>

## 研修員※3 受入事業 (短期)

水資源
都市上水道維持管理 (浄水・水質) A
(大阪総合水道サービス：奈良市企業局が大阪市・神戸市とともに協力)

※3 2023年度実績。開発途上国からJICAの研修事業 (数週間～最長3年 (博士課程留学) ) への参加者を指す。短期は1年未満の研修業務を指す。参加者は概ね先方政府の行政官。他にもビジネスや学術界の中堅リーダーなどが参加。研修を通じて知見・技術を共有し、自国の発展のために活かすうえで核となる人材。

## 民間連携事業

<b>株式会社グランソール免疫研究所 (宇陀市)</b> <ベトナム> がん治療のための医療サービスの質向上にかかる基礎調査 実施期間 (2019.01 - 2019.12) <b>魚谷鉄工株式会社 (五條市)</b> <インド> サトウキビ生産性向上及び高付加価値化を目的とした収穫機導入普及・実証事業 実施期間 (2019.08 - 2022.08) <b>株式会社大和農園 (天理市)</b> <ミャンマー> 集約型農業に資する優良種子生産と調製・販売事業普及・実証事業 実施期間 (2018.11 - 2022.02) <b>株式会社オーカワ (吉野郡下市町)</b> <ベトナム> こんにゃく芋の輪作栽培・加工製造事業調査 実施期間 (2015.03 - 2015.11) <b>吉野製材工業協同組合 (吉野町)</b> <ベトナム> 吉野材を活用した内装材の現地利用に関する基礎調査 実施期間 (2023.03 - 2024.02)
--

<b>株式会社南都銀行 (奈良市)</b> 中小企業海外展開支援事業における業務連携・協力に関する覚書締結 (2016.11.24)
---

## JICA留学生※4 (3名)

奈良先端科学技術大学院大学 (3名)
先端科学技術研究科：3名 (インドネシア1、モンゴル2)

※4 受入期間が1年以上の研修員で、日本の大学院の修士/博士課程を通じ、母国の開発に寄与するための総合的かつ高度な技術や知識の習得を目指しています。

## 草の根技術協力事業 (実施中)

<b>奈良学園大学 (奈良市)</b> <カンボジア> プノンペンにおける学校コミュニティへの安全教育導入プロジェクト 実施期間 (2026.3-2029.2)
--



<JICA留学生を対象とした地域理解プログラム「奈良県十津川村から学ぶ自然と共生する観光、村づくり」>

2026年3月31日現在JICA関西作成